

2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月8日

上場会社名 株式会社 エコミック
 コード番号 3802 URL <http://www.ecomic.jp>

上場取引所 札

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 熊谷 浩二
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 荒谷 努

TEL 011-206-1103

四半期報告書提出予定日 2019年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	427	10.6	4		8		5	
2019年3月期第2四半期	386	5.2	18		15		5	

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 17百万円 (%) 2019年3月期第2四半期 9百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	3.29	
2019年3月期第2四半期	3.59	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	658	598	90.5	371.26
2019年3月期	724	628	86.4	389.96

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 596百万円 2019年3月期 626百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		8.00	8.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,115	3.6	100	5.3	100	2.1	75	2.3	46.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期2Q	1,605,600 株	2019年3月期	1,605,600 株
2020年3月期2Q	株	2019年3月期	株
2020年3月期2Q	1,605,600 株	2019年3月期2Q	1,603,800 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢の改善や個人消費の持ち直しにより、緩やかに回復しております。今後も雇用・所得環境の改善が続く中で、各種政策の効果もあって緩やかな回復が続くと見られます。しかし一方で、少子高齢化・人口減少が進む中で、人材不足を克服し持続的な経済成長につなげるためには、働き方改革に伴う多様な人材の労働参加を図ることや、AI及びRPA等の導入などにより生産性の向上を図ることが大きな課題とされています。

当業界におきましては、この様な緩やかな景気回復基調、人材不足及び働き方改革等を背景に、引き続き企業の効率化、省力化への動向が継続しており、今後も事業再構築の手段としてアウトソーシングのニーズは高まると考えております。

そこで当社グループは、経営方針にある「お客様への価値あるサービスの提供」として、顧客企業に対し給与計算に係る人材、時間等の経営資源をより価値の高い本来業務へ転換していただくことによるコストの削減、顧客企業の生産性向上の観点から、アウトソーシングサービスの提案を行い、あらゆる企業から管理部門のルーティンワークを無くすべく付加価値の高いサービスの提供を行ってまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績については、売上高は427,084千円(前年同四半期比10.6%増)、営業損失は4,923千円(前年同四半期は営業損失18,273千円)、経常損失は8,181千円(前年同四半期は経常損失15,224千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は5,285千円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失5,759千円)となりました。

当社グループはペイロール事業の単一セグメントであるため、事業の種類別セグメント区分を行っておりません。この単一セグメントであるペイロール事業の経営成績は次のとおりであります。

当第2四半期連結累計期間については、前連結会計年度に引き続き既存顧客との関係強化及び積極的な営業活動に取り組んでまいりました。売上高については前年同四半期に比べ、給与計算処理人数が増加したこと及び給与計算に付随する周辺業務の受注が順調に進んだこと等により427,084千円(前年同四半期比10.6%増)となりました。利益につきましては、作業の標準化や子会社への業務委託等により効率化を進めた結果、前年同四半期に比べ売上総利益率は1.7ポイント上昇し、営業損失4,923千円(前年同四半期は営業損失18,273千円)、経常損失は8,181千円(前年同四半期は経常損失15,224千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は5,285千円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失は5,759千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度と比較して63,304千円減少し512,402千円となりました。これは主に現金及び預金が47,245千円減少したことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度と比較して3,145千円減少し145,962千円となりました。これは主に繰延税金資産が7,155千円増加した一方、ソフトウェアが9,271千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は658,364千円となり、前連結会計年度末に比べ66,450千円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は前連結会計年度と比較して36,383千円減少し59,749千円となりました。これは主に買掛金が9,549千円増加した一方、未払金が4,983千円、未払法人税等が23,130千円及びその他の流動負債が19,680千円減少したことによるものであります。固定負債は484千円となり、前連結会計年度末に比べ42千円減少いたしました。

この結果、負債合計は60,233千円となり、前連結会計年度末に比べ36,426千円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度と比較して30,023千円減少し598,130千円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失を5,285千円計上したこと及び利益剰余金の配当12,844千円があったことにより利益剰余金が18,130千円減少したこと並びに為替換算調整勘定が9,458千円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は90.5%(前連結会計年度末は86.4%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月13日に発表いたしました2020年3月期(2019年4月1日~2020年3月31日)通期の連結業績予想につきましては、今後修正の必要性が生じた際に速やかに開示する予定であります。

なお、将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	458,892	411,646
売掛金	106,885	83,795
為替予約	424	—
その他	9,542	16,997
貸倒引当金	△39	△37
流動資産合計	575,707	512,402
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品(純額)	16,237	13,804
その他(純額)	9,476	12,158
有形固定資産合計	25,714	25,963
無形固定資産		
ソフトウェア	87,176	77,904
無形固定資産合計	87,176	77,904
投資その他の資産		
投資有価証券	6,943	1,754
繰延税金資産	2,936	10,092
敷金及び保証金	26,296	30,237
その他	41	10
投資その他の資産合計	36,217	42,094
固定資産合計	149,107	145,962
資産合計	724,815	658,364
負債の部		
流動負債		
買掛金	11,942	21,491
未払金	12,146	7,163
為替予約	—	1,861
未払法人税等	27,827	4,696
その他	44,216	24,536
流動負債合計	96,133	59,749
固定負債		
繰延税金負債	527	484
固定負債合計	527	484
負債合計	96,660	60,233

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	248,137	248,137
資本剰余金	83,113	83,113
利益剰余金	294,319	276,189
株主資本合計	625,570	607,439
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,017	581
為替換算調整勘定	△2,463	△11,921
その他の包括利益累計額合計	553	△11,339
新株予約権	2,030	2,030
純資産合計	628,154	598,130
負債純資産合計	724,815	658,364

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	386,267	427,084
売上原価	279,367	301,757
売上総利益	106,900	125,326
販売費及び一般管理費	125,173	130,249
営業損失(△)	△18,273	△4,923
営業外収益		
受取利息	199	219
受取賃貸料	268	306
受取手数料	343	351
その他	3,340	269
営業外収益合計	4,152	1,146
営業外費用		
支払利息	—	3
為替差損	1,103	4,401
営業外費用合計	1,103	4,405
経常損失(△)	△15,224	△8,181
特別利益		
投資有価証券売却益	—	2,743
特別利益合計	—	2,743
特別損失		
訴訟和解金	—	4,714
特別損失合計	—	4,714
税金等調整前四半期純損失(△)	△15,224	△10,152
法人税等	△9,465	△4,867
四半期純損失(△)	△5,759	△5,285
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△5,759	△5,285

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純損失(△)	△5,759	△5,285
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,022	△2,435
為替換算調整勘定	△2,240	△9,458
その他の包括利益合計	△3,262	△11,893
四半期包括利益	△9,022	△17,179
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△9,022	△17,179

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△15,224	△10,152
減価償却費	18,835	22,810
為替差損益(△は益)	1,103	4,401
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△2,743
訴訟和解金	—	4,714
売上債権の増減額(△は増加)	44,831	14,007
営業債務の増減額(△は減少)	6,763	9,549
未払金の増減額(△は減少)	1,094	△2,173
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)	△497	△1,268
その他	△8,207	△27,946
小計	48,699	11,198
法人税等の支払額	△981	△22,921
その他	759	219
営業活動によるキャッシュ・フロー	48,476	△11,502
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,942	△7,946
無形固定資産の取得による支出	△1,656	△8,169
投資有価証券の売却による収入	—	3,245
敷金及び保証金の差入による支出	△1,965	△6,720
敷金及び保証金の回収による収入	5,675	3,266
その他の収入	△9,981	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,870	△16,324
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△12,582	△12,871
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,582	△12,871
現金及び現金同等物に係る換算差額	401	△6,547
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	25,425	△47,245
現金及び現金同等物の期首残高	346,232	458,892
現金及び現金同等物の四半期末残高	371,658	411,646

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。